

拠出金名:赤十字国際委員会拠出金

国際機関等名	赤十字国際委員会 (英文名称・略称) International Committee of Red Cross (ICRC)					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他○	
所轄官庁担当局課名	外務省国際社会協力部人道支援室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千スイスフラン)	レ ー ト		
平成16年度*	1,324,000	12,036	8,000	1\$=110円、1CHF=83円	(2004年) 1.5%	100
平成15年度	648,000	5,311	8,000	1\$=122円、1CHF=81円	(2003年) 2.1%	100
平成14年度	601,580	4,931	8,472	1\$=122円、1CHF=71円	(2002年) 2.9%	100
* スマトラ沖大地震およびインド洋津波被害に関するICRCを経由した緊急人道支援(600万ドル(予備費))を含む						
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2004年度決算)		
	国 名	(千スイスフラン)	率(%)			
1位	米	166,966	22.0%	当該年度の収入 777,779 千スイスフラン		
2位	スイス	92,065	12.1%	当該年度の支出 793,198 千スイスフラン		
3位	英	83,668	11.0%	次年度への繰越 -15,419 千スイスフラン		
4位	EC	77,899	10.3%	会計検査機関名		
5位	オランダ	43,888	5.8%			
上記の率及び順位は2004年のもの				(現在の構成員の出身国:)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
ICRCは、中立・独立などの国際赤十字・赤新月運動の基本原則に則り、紛争地における犠牲者の保護・救援活動、国際人道法の普及・促進活動等を行っており、その役割がジュネーブ諸条約に明記された唯一の国際人道機関である。ICRCは、その中立的性質ゆえに、紛争地帯において敵対する両勢力からの信頼を得て人道活動を行っており、我が国が、直接に支援を行うことが出来ない地域においてもICRCを通じて人道支援を行うことが出来、また、紛争犠牲者の犠牲者の保護、国際人道法の普及・促進というICRCの独自の役割を支援することは、「人間の安全保障」の理念に基づく人道支援外交を推進している我が国にとって、人道支援大国としての日本を国際社会にアピールする意味でも極めて重要である。我が国は、年1回開催される支援国会合(ICRCが毎年大口ドナー国を集めて開催。)の場を通じて、また、ICRCとの間の様々なレベルでの政策対話の場を通じて、ICRCの政策策定の議論に関与することが出来る。我が国としても、緊急人道支援の分野で高い専門性・キャパシティを備えたICRCの人道支援を積極的に支援していくことが戦略的にも益々重要になっている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価。						
より効率的な活動を実施するための機構改革、財務報告や実施報告書の改善、本部の経費を据え置く等の努力を評価。						
邦人職員数 うち幹部以上	2 人 うち 0 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体に占める 率	1,519人 0.1%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
ICRCに対し様々な機会を捉え邦人職員の積極的採用・増強の検討、そのための仏語能力要件の緩和等を申し入れていく。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2002年～2004年)である。